



独立行政法人国立病院機構
松江病院
 呼吸器病センター
 〒690-8556
 松江市上乃木5丁目8-31
 TEL (0852) 21-6131 FAX (0852) 27-1019
 URL <http://www.hosp.go.jp/~matsue/>
 発行責任者
 院長 徳島 武
 編集者
 事務部長 山崎 寛



松江城秋景

出雲松江藩の初代藩主、堀尾吉晴により1607年に築城された。当時からの天守を有する数少ない城のひとつで、屋根の形状から千鳥城の別称もある。城の周囲には名所、史跡が集中し、観光客も数多い。

● **もくじ** ●

真夏のスペインで開催された国際学会に参加して …………… 2	診療報酬勉強会を行いました …………… 11
第7回医療マネジメント学会島根地方会に参加して…………… 3	しじみ会（九月初秋号） …………… 11
医療安全管理室からの報告「転倒・転落事故防止に向けて」…………… 4	東病棟文化祭「きらめきinイースト」開催…………… 12
第4回中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会に参加して …… 5	療育研修会（水泳指導）が開催されました …………… 12
筋ジストロフィー在宅患者療育キャンプ …………… 6	さくら保育園だより「おじいちゃん・おばあちゃんに会いに行つたよ」 …… 13
筋ジストロフィー病棟ボランティア紹介 …………… 7	看護職員募集 …………… 14
栄養管理室から「出雲国フード（風土ではない）記」…………… 7	松江病院の元気宣言 「重症心身障害児（者）デイケア（愛称『にじ』）が始まりました」…………… 15
平成20年度「高校生一日看護体験」を終えて …………… 8～9	外来診療表 …………… 16
病棟新築について …………… 10	

私たちは心の通い合う医療をめざします。（職員一同）



真夏のスペインで開催された国際学会に参加して

神経内科医長（院内標榜臨床研究部長） **あ だち よし き**
足 立 芳 樹



グラナダ アルハンブラ宮殿

今年8月、スペインの首都マドリッドでヨーロッパ神経学会が開催されポスター発表をしてきました。演題は、「日本における周期性四肢麻痺の遺伝子解析」です。私は鳥取大学脳神経内科にいたころから周期性四肢麻痺の遺伝子診断を担当しており、当院でも遺伝子解析を行っています。お陰さまで全国から年に数例の遺伝子検査のご依頼をいただいています。（今年4月から保険適応検査項目に入りましたので、今後は、ご依頼が増えるのではないかと考えています。）周期性四肢麻痺は、多くは小児期より発症する発作性に四肢脱力を来す疾患です。特に足に力が入りにくくなって、場合によっては立ち上がったたり歩いたりすることもできなくなります。発作時に血液中カリウムが低下することが多く、この場合はカリウムを補充することにより症状は改善します。過食が発作の引き金になることもあり、正しく診断することにより発作の予防や早期治療が可能になります。逆に発作



サンチャゴ・ベルナベウ・サッカー競技場

中にカリウムが上昇する場合もあり、この場合は、カリウムを下げるような治療を行います、周期性四肢麻痺の原因はカルシウムチャンネル遺伝子異常のことが多く、私もこの遺伝子の変異をシークエンサーという装置を使っ

て調べています。この他、ナトリウムチャンネルやカリウムチャンネルの異常により発作がおこることもあり、これらについても当院で調べています。今まで20家系近く検査しましたが、約半数で遺伝子異常がみつきり確定診断ができています。患者様でのみ遺伝子異常がみつきり、ご両親は異常がない、いわゆる突然変異も2名みつきり、ご家族に同じような症状がなくても遺伝子診断をする価値があることもわかりました。今回は国際学会ですから欧米との比較も行いましたが、遺伝子異常が見つかる割合や主な遺伝子変異も欧米と変わらないという結果でした。

今回は、筋疾患の講演を主に聴きました。筋強直性ジストロフィーは日本でも多い病気ですが、筋ジストロフィー型は稀な病気です。稀な病気については、特にこのよ



学会会場「フェリア・デ・マドリッド」

うな国際学会でビデオなどの講演を見聞きすることにより患者様の症状を把握することができます。このことも国際学会に参加する意義の一つと考えています。

当院では筋強直性ジストロフィーの遺伝子診断も可能ですが、この型の遺伝子診断もできるように準備を進めています。

今回の学会中に丁度サッカーのスペイン王者を決めるスペイン・スーパーカップがレアル・マドリッドの本拠地であるサンチャゴ・ベルナベウ・サッカー競技場で開催されました。試合開始が午後11時だったので、学会発表のあと観戦にいきました。2名もの退場者を出しながらも、熱狂的な観客の応援に後押しされて、レアル・マドリッドが優勝しました。真夏のスペインは昼間37くらいになることもありとても暑かったですが、この夜のサンチャゴ・ベルナベウも熱かったです。翌日は、すこし足をのばし灼熱のアンダルシアの地、グラナダのアルハンブラ宮殿にいつてきました。イスラム文化の緻密な装飾と至る所に流れている水路や噴水が、からからに乾いた灼熱の広大な大地のなかで「オアシスのお城」といった雰囲気でした。帰りの列車のなかで、いつまでも続く広大な乾燥したオリーブ畑と、ドン・キホーテが戦いをいどんだ風車を遠くに観ながらマドリッドに帰りました。村住佳織の「アルハンブラの思い出」を携帯音楽プレーヤーで聴きながら・・・



第7回医療マネジメント学会島根地方会に参加して

外科医師 **三好 健一郎** (みよし けんいちろう)



グラントワ外観

医療マネジメント学会島根地方会は毎年1回、松江・出雲・益田の3都市を中心として開催される学会で、安全で安心できる医療の実践と効率的な医療施設運営を目的として設立されています。

今回我々は、朝6時半に松江病院を出発し、約4時間の時間をかけて益田市の「グラントワ」を目指しました。(集合時間に遅刻して院長に怒られていた人がいましたが、何を隠そう僕であったということにはなるべく他の方には内緒でお願いします。)

午前中は特別講演に一般講演、午後はポスターセッションにシンポジウムというプログラムでした。当院からは、ポスターセッションに目次医長、永田副看護師長、青山看護師の3方が参加されました。

永田副看護師長は肺結核クリニカルパス逸脱患者さま

への説明の在り方について発表されました。ここでいうクリニカルパスとは診療計画書のことです。患者さまの治療に対する不安などのメンタル面を医師・看護師が協力し合い支えていくためには今後どのようにクリニカルパスを運用していくべきかを検討されていました。非常にわかりやすく患者さまの立場に立った看護師ならではの視点だと感じました。

青山看護師によるポスターセッション

青山看護師は胸部手術クリニカルパスのバリエーション分

析について発表されました。ここでいうバリエーション分析とはクリニカルパスの予定からはずれた要因について分析することです。当院では2005年より、術前・術中・術後を1本化した胸部手術用のクリニカルパスを採用していますが、そのパスについてバリエーション分析が施行されたのは今回が初めてです。この研究によって、さらに効率的に医療を施行でき、ひいては患者さまの利益につながると感じました。

目次医長は当院における胸腔鏡下肺葉切除パスのバリエーション分析について発表されました。バリエーションとしてはドレーン抜去日と退院日に集中していました。ドレーン抜去日のバリエーションについては経過良好にて抜去を早めたポジティブバリエーションがほとんどでした。また退院日のバリエーションについては患者様本人の希望によるものがほとんどでした。今回のバリエーション解析では医療者側による要因は少なく、クリニカルパスが効果的に機能していることが証明されました。僕自身も当院の外科に勤務させていただいており、非常に嬉しく感じました。

当院以外の発表者の方の発表も興味深いものが数多くあり、本当に勉強になった一日でした。地域連携、患者さまのことを第一に考えたパスの在り方、医療崩壊を防ぐためには...等々。

僕自身も地域医療に携わる者の一人として身の引き締まる思いがした一日でした。(帰りの車でも、僕が時間にルーズなところを院長に叱られてしまっていたのは内緒でお願いします。)

目次医長によるポスターセッション



永田副看護師長によるポスターセッション



全員集合



青山看護師によるポスターセッション



筆者近影

医療安全管理室からの報告

20年度医療安全管理研修会「転倒・転落事故防止に向けて」

医療安全管理室 医療安全管理係長 ^{いし}石 ^{かわ}川 ^{かず}和 ^え枝

7月31日夕方の17時45分から全職員を対象に医療安全管理研修会を開催し、65名の参加者がありました。今年度は国立病院機構全体で取り組んでいる「転倒・転落事故防止に向けて」の内容をまず説明し、その次に薬剤によるリスクとベッド周囲の環境調節についての講習会を開催しました。自宅から病院への入院生活に変わり、年齢を問わず、誰でもが転倒する可能性があるということを職員一同再認識する機会としました。



講師の面々

転倒・転落事故防止プロジェクトについて

- ・転倒転落事故は医療事故全体の約30%を占めている。今後2年間で転倒転落事故発生率の半減を目指す。そのために、入院時アセスメントシートを実施して個々の患者様に応じた防止策を取り入れていく。
- ・このアセスメントシートは全国統一したシートであり、データを収集し今後活かしていく。当院のマニュアルも作成し、今後転倒転落防止の取り組みに力を入れていきたいと考えています。

錦織薬剤師より、薬剤による転倒転落のリスクに



研修風景

ついて

- ・転倒転落に注意を要する薬物、特に睡眠薬・抗精神薬・抗パーキンソン薬等
- ・多剤併用による影響も転倒リスクが増加する。
- ・薬剤の適正使用が必要であり、医療スタッフが患者と共にリスクを認識する事が大切

今回作成したマニュアルにも載せていますが、転倒転落に影響しやすい薬剤リスト（当院採用薬品には色）を活用し、作用や副作用を把握することも転倒・転落リスク低減のポイントだと考えます。



質疑応答

今井理学療法士よりベッド周囲の環境調節について

- ・ポータルトイレを安全に使用するためには、移乗動作を観察し適切なポータルトイレの選択が大切。麻痺等があれば設置場所にも配慮が必要である。
- ・ベッドの高さやマットレスの硬さの確認をする。

入院された時点で環境が一番大切であり、現場での意見交換を行うことが転倒・転落事故防止につながると提案されました。

転倒転落事故は医療者側がどんなに頑張っても0%になることは難しいと考えます。

だからといって行動制限をすすめることは良くありません。患者様やご家族と一緒に転倒転落のリスクを認識し、予防策を考えて、万一発生した場合であっても少しでも軽傷ですむよう取り組んでいきたいと思えます。

10月より転倒・転落防止チームをつくり、院内ラウンドを行い転倒・転落事故防止活動を進めていく予定です。全職員のみなさまのご理解をいただき、一丸となって事故のない医療現場づくりに取り組みたいものです。

第4回 中国四国地区国立病院機構・国立療養所 看護研究学会に参加して

東1病棟 看護師長 福井真弓

9月13日(土)に徳島市で開催された看護研究学会に参加させていただきました。今年は当院からは4題の発表を行いました。内容は下記に記載していますのでご覧ください。発表には活発な質問があり、内容のあるプレゼンテーションが出来たと思います。



ポスター発表中

徳島市までの旅程は各病棟それぞれでしたが、当日はプログラムを見ながら、当院の発表会場に応援に行き、関心のある発表があれば分担して聞くなど、それぞれが積極的に行動していました。

特別講演は「看護師の手からぬくもりを伝えたい」と題して、日本赤十字看護大学学部長の川島みどり先生が講演をされ、過密、高速回転の看護現場とIT化で、「看護師が患者様の身体に触れなくなったのではないか」という問題提起をされ、今だからこそ、「看護の原点への回帰を」と、経験談を交えながらお話しされました。また、年齢を感じさせない稟としたその姿にも学ばせていただきました。

私たち東1病棟組は12日と13日宿泊し、徳島の食と地酒を学び、13日眉山で行われた地元のお月見行事に



記念撮影

も参加、阿波踊りの歴史や踊り方の変遷などを実演で見ることができました。あいにく途中で雨になり、お月見にはなりませんでしたが…。14日は天候も回復し、渦潮を見に行き、事前にインターネットで調べておいた、一番潮目の良い時間の船に乗ることができました。色々学べた徳島の学会でした。来年は山口県で開催予定とのことです。



うず潮

発表内容

□ 演

東1病棟「重症心身障害者の栄養量の検討」

－生活習慣病予防の視点から－

発表者 青砥 景子

東5病棟「筋ジストロフィー患者の移乗方法判定基準の検討」

発表者 松本 光海

ポスター

第2病棟「NPPV導入患者の退院後の自己管理に向けた実態調査」

－過去3年間の入院記録・訪問記録・聞き取り調査から－

発表者 松浦 史江

東3病棟「筋ジストロフィー患者の安心な移乗介助」

－簡易移乗機こまわりを利用して－

発表者 中湯 瞳

筋ジストロフィー在宅患者療育キャンプ

療育指導室 保育士 ^{てら} 寺 ^{もと} 本 ^{まさ} 昌 ^こ 子



ウエルシティー島根にて

去る9月6日～7日、日本筋ジストロフィー協会島根県支部主催で筋ジストロフィー在宅患者さんの療育キャンプがあり、松江病院からも医師2名・看護師1名・理学療法士1名・療育指導室4名が協力参加しました。このキャンプも今年で34回目となり毎年在宅患者さんは楽しみにしておられるようです。

6日のお昼に訓練センターを出発。出雲大社で現地集合組と合流し、まずは古代出雲歴史博物館を見学し、出雲大社周辺散策で出雲の古代文化に触れることからはじまりました。夕方宿舎の「ウエルシティー島根」へ入り、鳥取大学脳神経小児科教授大野耕策先生の「筋肉の病気と治療」と題する講演を拝聴しました。患者さんから疾患の治療に関する熱心な質疑があり、大野教授からは最新の治療と今後の展望について丁寧にお答えをいただきました。その後患者さんの入浴、そして一番の楽しみであります夜の懇親会です。患者さん一人一人の近況等を聞きながら、私たちが思う以上に患者さんにとってこのキャンプは患者さん同士が顔を合わせられる、年に一回の楽しみで、お互いに元気をもらえる大切なモノなのだ、と改めて感じました。またそれ以上に私たちスタッフも患者さんから大きな大きなパワーをもらえる瞬間でもあるような気がします。患者さんやボランティアさんの歌あり芸ありで宴も大いに盛り上がりお開きとなりました。その

後はそれぞれに過ごしましたが、有志で一つの部屋に集まり、患者さんとスタッフの枠を取り払っての二次会では、普段の病院の診察室であればとても聞かれない本音トークが炸裂し、これこそ医療に携わる私たちにとって、とても貴重な患者さんの生の声だと思いました。夜も更けるのを忘れて語り合え、とても意味のある時間を過ごせたと思います。

翌7日はあいにくの雨模様となりましたが皆さん元気に（語り明かし飲み明かし（？）で寝不足な人が何人かいましたが...）出発！「出雲そば庄たまき」「そば道場」に行きそば打ち体験をしました。はじめは車いすの患者さんにそば打ちが出来るかどうか心配していましたが、皆さんそんな心配なんのそので払拭してくださいました。粉に触りコネコネ麺棒で巻いては打ち巻いては打ちを繰り返し一時間後にはそば打ち完了。そして打ちたて茹でたてのそばを昼食にいただきました。太さもいろいろ形もいろいろでしたがとてもおいしいそばに皆さんに満足していただけたようです。そしてこの場で閉会...。「来年もまた元気で会いましょう」を合い言葉に解散となりました。

在宅患者さんにとって、なくてはならないこのキャンプを今後とも末永く続けなければいけないと再認識し、また子供さん世代の患者さんの参加も多くなれば良いなと感じた二日間でした。



古代出雲歴史博物館にて

飲酒運転を根絶しましょう！

筋ジストロフィー病棟ボランティア紹介

療育指導室 児童指導員 藤 崎 敏 行

筋ジストロフィー病棟の患者さん6名が就労支援の一環として活動している、Tシャツ製作グループ「EAST 5 FACTORY」。ベッド離床が困難な患者さんを含めたメンバーが、パソコンのイラスト制作ソフトを駆使してTシャツのデザインを行っています。今回ご紹介するのは、平成19年1月からこの活動に参加していただいているボランティア、長谷川明さん、松浦慶二さんのお二人です。患者さんの作成したデザインをTシャツにプリントする作業をお願いしており、アイロンプリント用紙をアイロンでTシャツに転写したり、プロも使っているシルクスクリーンを使った印刷の作業をしていただいております。ボランティアを始められてもうすぐ1年と11ヶ月。Tシャツ作りは初めてだったお二人ですが、患者さんメンバーと試行錯誤を繰り返しながら作業をされており、今では患者さんのデザインを見るとすぐに、「どのように表現すれば良い物にできあがるのか」と作業工程をイメージしておられます。

患者さんメンバーとの楽しい時間の中で、今ではブ

口級の技術です。お二人はこれからの抱負を次のように語っておられます。

「若い人たちといい作品をつくって一緒に喜びたい」
「私たちが忙しくてかなわないほど注文が来る日を楽しみにしています」

これからも皆さんの熱い情熱、熱い活動で、熱い作品を作り続けていただけると信じております。



出雲国フード（風土ではない）記

栄養管理室から

栄養管理室 栄養管理室長 村 上 豊 司

ご縁がありまして松江開府400年という記念すべき年に四国の徳島より転勤してまいりました、村上と申します。（と言ってもすでに1年半が経過していますが...）遅ればせながら宜しくお願ひいたします。

山陰地方は海の幸、山の幸に恵まれていて休日には観光と自己研鑽を兼ねて食べ歩きをしています。なかでも「出雲そば」はどの店で食べても美味しく、いつも楽しみにしております。

さて、今回は徳島の郷土料理で、そばを使用した少し変わった料理、「そば米雑炊」をご紹介します。その昔、平家の落人が都を偲んでつくったことから始まったと云われておりまして、そばの実から皮を取り除いた「そば米」を粒のまま使用することに

よりプチプチとした独特の食感が味わえる一品であります（写真参照）。そば好きの面々でもあまり食された方はおられないと思い、紹介いたしました。この「そば米」は通信販売などで比較的簡単に入手できますので興味をもたれた方はぜひ挑戦してみてください。



「そば米雑炊」

平成20年度 「高校生一日看護体験」を終えて

第10病棟 看護師長 ^{つぼ}坪 ^{くら}倉 ^{いさ}功 ^こ子

7月29日（火）8:30～13:00の半日、高校生の一日看護体験を行いました。参加学校は5校で、11名の高校生の方が参加してくださいました。会議室に集合し、まず白衣に着替えてもらいましたが、ひとりひとり初々しい看護師さんという感じで若かりし頃の自分を思い出しました。

看護部長さんの挨拶、オリエンテーションなどのあとに、5個病棟に分かれて、脈拍測定・血圧測定・SpO₂測定・車いす移動・患者さまの散歩・足浴・手浴・患者さまとのコミュニケーションなどを行いました。

はじめはとても緊張している様子でしたが、足浴や散歩などを通して患者さまと触れ合ううちに、だんだんと笑顔がこぼれ、患者さんからもとても喜んでいただきました。また、是非看護師さんになりたいですと言う声を聞けたことは、私たちの大きな励みになりました。この体験の中から、松江病院を・看護師の仕事を・看護の喜びを多少なりとも知っていただけたと感じています。最後に感想文を書いていただきましたが、短い間に貴重な気付きをされているのが伝わってきました。ここにその一部ではありますが掲載させていただきます。

看護体験を通して

松江市立女子高等学校 吉岡 真子

私は、東5病棟に行かせていただいて、患者さんと散歩に行きました。お話のできない患者さんと抱っこして、話をできないから楽しくないわけではないんだなあと思いました。話ができなくても表情や体で表現して気持ちを伝えることがこんなに嬉しいものなんだなあと思いました。

患者さんはたとえ体が動かなくても、体の使える部分を最大限に生かし楽しみを作っていました。看護師さんに教えてもらったものだけでなく患者さんからもたくさんのことを教えてもらいました。

1日看護体験から

松江市立女子高等学校 宮平 いづみ

今日1日体験してみて、体験する前はすごく不安もあったし、自分にできるのかすごく怖かったけど患者さんと抱っこして笑顔が大切なんだと思いました。ベッド（ストレッチャー）で自分が寝ながら押してもらっている時すごく変な気がしました。患者さんがベッドに寝られるときにベッドの高さを合わせたりと、人の気持ちを常に考えながら仕事をしないとイケないんだなと分かりました。

看護体験についての感想

松江西高等学校 細田 彩花

私は1病棟で体験させていただきました。足浴をしている時、「気持ちいいわ。ありがとう。」と言われて、すごく嬉しくて、やりがいを感じました。患者さんと話をした時は、笑顔でお話できて、自分が患者さんに元気をもらっていました。人に笑顔を与えられるのは難しいことだけど、自分が笑顔でいるだけで相手も笑顔になってくれてすごく幸せな気持ちになりました。



このスロープって大変よね

看護体験を通して

島根県立大東高等学校 青木 詩央里

今日、1日看護体験をして看護の仕事の魅力を改めて感じました。患者さんのおられる病室に行き自己紹介をしてから患者さんの血圧測定のお手伝いをしました。やっぱり患者さんに何かをしてあげるといことは、血圧をはかるという普通の作業であってもすごく緊張してしまいました。あまり上手に出来なかったけれど患者さんに「ありがとう」と言われ、下手だけど頑張ったよかったですと心から思いました。



自己診断中？



血圧測定中 音がちゃんと聞こえるかな

看護体験を通して

松江市立女子高等学校 藤原 真亜子

今日初めて看護体験をしてみて、はじめは不安がありましたが、実際に患者さんと触れ合ってみて、話すことはできませんでしたが、こっちが話しかけたら笑顔で対応してくださってすごく嬉しかったです。また、車いす体験をしてみてけっこう操作が難しい事が分かりました。だけど患者さんと一緒に散歩してみても、楽しかったです。患者さんとは本当に数時間しか触れ合うことができませんでしたが、別れる時がさみしかったです。この体験を通してよりいっそう看護師になりたいという気持ちが強まりました。

看護体験を通して

島根県立松江農林高校 小川 花子

今日の看護体験では、血圧測定や足浴や聴診器を使って心臓の音を聴いたりしました。病室に行くと足浴をさせてもらった時、患者さんがとてもさっぱりした顔をされていて本当に良かったです。人を看護することだと感じました。患者さんから、「いい看護師さんになってくださいね、頑張ってくださいね」と何度も言われ、看護師さんになりたいと強く思いました。



足浴の体験

病棟新築について

地鎮祭を行いました

企画課 契約係長 **小林 英樹** こばやし ひでき

平成20年9月24日(水)、晴れわたる秋空の下、新病棟の建設に先立ち工事の安全を祈願するため、職員、関係者列席のもと地鎮祭が行われました。地元神社である野代神社の神主さんにより肅々と神事が執り行われました。

まず修祓(お祓い)から始まり、降神、献饌、祝詞奉上、清祓、地鎮行事(刈初めの義・穿初めの義・斎主鎮物埋納の義・鎮物鎮定の義)、玉串奉奠、徹饌、昇神と執り行われ、工事の安全を祈り最後は御神酒(中身はジュースです。)で乾杯いたしました。その後院長の挨拶があり、全て滞りなく終了しました。

今後実際に工事が始まるわけですが、安全対策には万全を期し工事を進めていきたいと思っております。職員の方々にも何かとご協力を願うこととなりますが、来年の建物完成までよろしくお願いいたします。

院長挨拶 (概要)

昭和46年に島根療養所と松江病院が統合されてから37年経ちました。当時は結核の患者さんも多く現在の倍の660床でスタートした当院も、時代の流れ(結核患者の減少等)に伴い、呼吸器疾患をメインとした運営を行い現在に至っています。最近では建物も老朽化し、皆様にはご不便ご迷惑をおかけしてまいりました。

4年前に独立行政法人へ移行し、財務状況等厳しい中、職員の皆さんの協力でようやく昨年11月本部より建替えの承認をもらい、本日の地鎮祭に漕ぎつけました。今後も厳しい状況の中ではありますが、来年の完成に向けて更なる職員の皆様のご協力をお願いします。

工事の安全を祈願し、立派な病棟が建つことを願って挨拶といたします。



天候に恵まれました



手を洗い清めます



祭壇の様子



肅々と神事は進みます



徳島院長による穿ち初め



院長挨拶

診療報酬勉強会を行いました

企画課 専門職 **かん だ とし ひさ**
神 田 稔 久



研修会風景その1

全国の国立病院機構施設を対象に、平成20年度診療報酬研修会が同じ内容で行われ、私は、平成20年7月18日に中国四国ブロック事務所（中国会場）にて研修を受講しました。

その時の伝達講習及び算定漏れ対策等についての院内勉強会を平成20年8月25日に会議室で行いました。（参加41名）伝達講習については、レセプトチェックにおける積極的な考え方、現場と医事との間の情報伝達の重要性、そして点数改正における注意事項等を伝達しました。特に、医事職員の診療報酬に関する意識の持ち方や現場との情報伝達については、しっかり説

明できたと思っています。

算定漏れ対策については、現在、医事で行っている算定漏れのチェックの方法や現場との連絡状況を、実際に担当している委託業者の方に説明していただき、病棟等現場での請求漏れ対策の参考としてもらうと共に、医事と現場との協力体制の強化をお願いしました。

診療報酬点数については、病院経営の礎になるものであって、大変重要な事柄ですが、度々変更されるものでもあるので、日頃からの勉強が重要で、今後も毎日の業務をこなしながら勉強を重ね、機会を作って院内の研修会を開いて行きたいと思います。



研修会風景その2

しじみ会 九月初秋号

平成20年9月1日号

リハビリテーション科 作業療法士 **たて いし よう こ**
立 石 葉 子

- ・祭りには みこしかつぎし 血が走る
帯石会長
- ・窓枠に 夕焼け入れて 飾りたや
となりの住人
- ・蛸や 何所で鳴くのか かなかなと
やどかりさん
- ・父の日に 黙ってそばにいる 息子かな
永島さん
- ・後輩の 活躍空し 一点差
「K」さん
- ・壁際に 種が落ちてね 朝顔が
岡さん
- ・影もなく ゆらりふわりと 海月(クラゲ)かな
京の静さん
- ・シロイルカ バブルリングで 応援だ
白イルカさん
- ・青笹に 五色の願い 結びけり
けん一さん
- ・介護して 衣替えなり なに思う
「M」さん
- ・恐面 だけど心は 乙女なの
ヒミコジャパンさん
- ・窓の外 お祭りさわぎ 蝉の声
三宅真琴さん
(YMCA米子医療福祉専門学校)
- ・捨てちゃダメ ムダも厳禁 エコ時代
金子豊士さん
(CAC医療技術専門学校)

《メンバー情報》

メンバーのヒミコジャパンさんは在宅療養で頑張っておられ、この度、“ブログ”開設されました。是非、ご覧ください。川柳集を発行されます。

『ヒミコのなんちゃって川柳』 <http://blogs.yahoo.co.jp/sakushima100>

東病棟文化祭「きらめき i n イースト」開催

療育指導室 児童指導員 **藤 崎 敏 行**



ゴスペルオーブの皆さん

秋晴れの10月5日。毎年恒例の東病棟文化祭「きらめき i n イースト」が開催されました。来年は病棟建て替えのため「きらめき i n イースト (東病棟)」としては最後となります。患者さん、ご家族、関係者、50名ほどのボランティアの皆さん、地域の方々等総勢600名余が来場されました。日頃の活動の紹介や患者さんが1年間一生懸命製作された七宝焼などの「作品展示」、「即売」、ご家族の協力による「模擬店」、そし



会場風景その1

て松江市東本町にあるカクテルバー「山小舎」さんのご厚意による「ノンアルコールカクテルバー」など、盛りだくさんの内容を楽しんでいただけたと思います。さらに、午後からは松江市で活動されている「都山流尺八」の皆さん、米子市を本拠地として活動されているゴスペルグループ「ゴスペルオーブ」の皆さんが計14曲を披露してくださいました。日頃観たり聴いたりすることができない2つのグループの公演に、患者さんを始め、ご家族、関係者、地域の方、多くのボランティアの方々が感激しておられました。ゴスペルオーブさんからは「本当に楽しかったです 松江病院は笑顔が沢山あって楽しい また、お邪魔したいと思っています」とのご感想を頂きました。

病棟で訪問カクテルバーを体験していただいた患者さんは、「山小舎さん、ますますかっこよくなられて会うだけで緊張して毛穴が開いて汗がブワッと出て...、とにかくかっこよかった～。カクテルも工夫して「見る用」と「口に入れる用」と作ってくださってとても嬉しかったです。すごく感謝してます。」と本当にうれしそうな表情で語ってくださいました。来年は病棟新築後初の文化祭。今年のパワーを上回る内容を今から検討しようと思っています。やはりみんなが集う行事は最高！



療育研修会 (水泳指導) が開催されました

療育指導室 水泳指導員 **小笠原 美幸**

7月26日(土)、27日(日)の両日、当院のプールを利用して、「平成20年度中国地区筋ジストロフィー患児と家族のための療育研修会(水泳指導)」(日本筋ジストロフィー協会中国地方本部主催)が開催されました。今年は昨年より参加者も多く、中国各県より、3歳から15歳までの患児9名とそのご家族が参加。当院

からは医師、看護師、理学療法士、療育指導室スタッフの各職種17名がスタッフとして参加し指導や助言を行いました。併せて今年は、広島西医療センターより研修のため参加された児童指導員・保育士の方々6名にも加わっていただき、総勢60名で賑やかに始まりま

初日は開会式の後、外来診察を経て親子・スタッフと共に「ハロウィック水泳法」による水泳指導を行いました。「ハロウィック水泳法」は、浮き具を使用せず、マンツーマンでゲームプログラムを中心に楽しむことを重視します。楽しみながら、いかに最小限の適切な補助でリラックスして体を動かすことができるか、というものです。水泳は、呼吸機能に対するリハビリテーションにも役立つということで、参加者の方々からも「地域に帰ってもプール活動を続けていきたい。」と、うれしい感想が寄せられました。

プール後には、保護者を対象に小児科医師、理学療法士、看護師による「在宅ケアのこつ」と題した研修会も開かれました。成長期の子ども達に対する医療やリハビリのポイントについて分かりやすく説明すると共に個別相談にも応じました。

夜は、参加者全員による手作りの夕食会で交流を深めました。保護者やスタッフとの意見交換では、在宅生活の悩みなども多く聞かれ、ご家族同士の連携も広がり大変有意義な時間を過ごすことができました。また子供たちも体育館でゲームをしたり、院内を探検す



水泳指導の様子

るなど、レクリエーションでおおいに楽しみました。

翌日の午前中にもう一度水泳指導を行い、無事日程を終えることができました。参加者の皆様からは「来年度も参加したい。」という声も聞かれ、充実した研修会となりました。

今後とも、筋ジストロフィーの専門医療機関として、広島西医療センターとも連携をとりながら、在宅支援を充実していきたいと思っております。

さくら保育園だより

「おじいちゃん・おばあちゃんに会いに行ったよ」

9月17日に、養護老人ホーム浩生寮の敬老のお祝いの会に招かれ、11人の子ども達と手作りのプレゼントを持って訪問しました。

おじいちゃん、おばあちゃんに見てもらおうと、歌・体操・劇の練習をたくさんして、当日も「大きな声で!」「元気よく!」と、気合を入れて出発しました。

今年で交流会は3年目になり、顔見知りのおじいちゃん、おばあちゃんもいらっしやっただので、リラックスできると思いましたが、今回は今までで一番多勢の人がおられたせいか、子ども達は借りてきた猫のようにおとなしく、緊張の面持ち…。

でも、そのうち、「僕達の出番まだあ?」という声が出始め、ステージに上がると、自信に満ちた顔で歌い、踊り、お芝居をし、水を得た魚のようにたくさんの拍手を頂きました。

おじいちゃん、おばあちゃんにプレゼントを渡す

さくら保育園 保育士 ^あ ^{だち} ^{ひとみ}
足 立 瞳
と、手作りのエプロンをお返しに頂き、お菓子とジュースのおみやげまで持たせてもらって、大満足の笑顔で帰りました。

おじいちゃん、おばあちゃん、ありがとうございました。どうぞ長生きしてね!



看護職員 募集案内

■ 処 遇

- 1.身 分 国家公務員
- 2.給 与 基本給(看護師)
 - 初任給 ●大学4卒 198,300円～
 - 短大3卒 188,900円～
 - 短大2卒 180,500円～
 - ※経験年数による加算あり。
 - 諸手当 ●夜間看護手当
 - 業績手当(ボーナス)
 - 住居手当
 - 通勤手当
 - 専門看護手当
 - その他規定に基づき支給
- 3.休 暇 ●4週8休
- 年次有給休暇 有
- 夏季休暇等の有給休暇 有
- 4.勤務時間 週40時間
 - 日 勤／ 8時30分～17時15分
 - 準夜勤／16時15分～ 1時
 - 深夜勤／ 0時30分～ 9時15分
 - ※その他、早出勤務・遅出勤務あり。
- 5.福利厚生
 - 院内宿舍 有
 - 院内保育所 有
 - 職員駐車場 有
 - ユニフォーム無償貸与

■ 募 集 内 容

- 1.応募資格 / 平成21年3月に看護師養成機関を卒業見込みの方
又は、看護師の免許を有する方
- 2.募集人員 / 10名
- 3.採用予定日 / 平成21年4月1日
- 4.選考方法 / 筆記試験及び面接
- 5.必要書類 / [平成21年3月に看護師養成機関を卒業見込みの方]
 - ①添付の履歴書
 - ②在学中の養成機関の成績証明書
 - ③卒業見込み証明書
 - ④既に取得している免許証の写し(該当があれば)
 - ⑤在学中の養成機関へ入学する前の養成機関の卒業証書の写し、又は卒業証明書(該当があれば)
 - ③返信用封筒2通(長形3号封筒(縦235mm、横120mm))に、住所氏名を記入し、300円分の切手を貼ったもの
 - ※受験票及び合否通知書の発送に用います。

[看護師の免許を有する方]

 - ①添付の履歴書
 - ②既に取得している免許証の写し
 - ③返信用封筒2通(長形3号封筒(縦235mm、横120mm))に、住所氏名を記入し、300円分の切手を貼ったもの
 - ※受験票及び合否通知書の発送に用います。
- 6.提出先 / 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号
独立行政法人国立病院機構松江病院 管理課 庶務係長宛
TEL 0852-21-6131(内線208)
FAX 0852-27-1019
- 7.提出期限 / 選考日の2週間前まで(必着)
- 8.選考日程等 / 日時 ①平成20年11月13日(木)
②平成20年12月18日(木)
③平成21年2月5日(木)
場所 独立行政法人国立病院機構松江病院 会議室
- 9.合 否 発 表 / 合否の連絡は、受験日から10日以内の予定です。

■ 交通のご案内



本案内とは別に、随時若干名の看護師募集を行っています。
詳細につきましては、
独立行政法人国立病院機構松江病院
管理課 庶務係長 TEL 0852-21-6131 (内線208)
までお問合せください。

- JR山陰本線 松江駅から市内バス 約10分
*古志原行・大庭行・八重垣行・国立病院行 国立松江病院前下車
- JR松江駅からタクシー 約10分
- 山陰自動車道 松江中央出口から 約8分

●●●● 松江病院の元気宣言！ ●●●●

「重症心身障害児(者)デイケア（愛称『にじ』）」が始まりました

10月8日（水）から、「重症心身障害児(者)デイケア」が始まりました。愛称は『にじ』。利用者・保護者の方々から応募していただいた案の中から決まりました。在宅と入所の架け橋に、という願いがこめられています。

開始当日には、院長を始め病院幹部も出席し、利用者の保護者さん曰く「こじんまりと、でも盛大に！」開園式が行われました。院長挨拶、齋田小児科医長・細田家族会会長のメッセージ、記念品の贈呈、スタッフの紹介、保護者からのメッセージとすすみ、開園式のメイン(?)のくす玉割りが行われました。このくす玉は、前日に東1病棟の福井看護師長が精魂込めて作り上げたものです。利用者2名が勢いよく紐を引っ張ると、見事に「祝開園...」の文字と紙吹雪が会場に広がり (...の予定でしたがうまく開かず、最終的には手でこじ開けました。これもご愛嬌)、雰囲気は最高潮に。出席者全員で「believe」を合唱し、開園を祝いました。

デイケアでは、在宅の重症心身障害児(者)の方を対象に、必要な医療と共に、発達についての相談やリハビリ、療育活動など、総合的なサービスを提供します。また、ケアに追われて生活時間にゆとりがなくなりがちな重症心身障害児(者)の家庭にレクリエーション的行事の参加の機会を提供し、情報提供や各種相談にも応じます。本人・家庭のニーズに対応することで地域



開園式

療育指導室 療育指導室長 ^{よし} ^{おか} ^{きょう} ^{いち}
吉岡恭一

内での重症心身障害児(者)医療に貢献し、より安心して在宅で過ごすことができるような支援体制を整備していきます。対象は、在宅重症心身障害児(者)、特に医療的ケアを常に必要とするような在宅超重症児・準超重症児とし、就学前児、加齢児、および訪問教育を受けている児童など幅広く受け入れていきます。

通園日は週1回（毎週水曜日）、時間は10：00～16：00で当面2～3名程度から開始していますが、将来は1回5名程度まで受け入れていく予定です。スタッフは、小児科医師、看護師、理学療法士、作業療法士、児童指導員、保育士、その他の職員で対応していきます。また、来年度からは言語聴覚士を採用し、リハビ



記念品贈呈

リの充実も図る予定です。

今後、このデイケアの定着により、すでに当院で行っている短期入所やレスパイト入院などの受け入れも円滑に機能すると思います。また、当院が特に医療的ケアの多い障害児(者)を主としたデイケアを行うことにより、他の施設において軽症の方の受け入れが広がると期待されています。

念願であったデイケア。今後、利用者と共にこの『にじ』が育っていくよう、期待に応えていけるよう、齋田小児科医長を中心にスタッフ一同努力して行きたいと思えます。

外来診療表

お気軽にご相談下さい

平成20年10月1日現在

診療科	日	月	火	水	木	金	専門領域	
呼吸器内科	矢野	小林	若林	門脇	池田		【呼吸器科】 竹山 博泰 矢野 修一 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 若林 規良	【副院長】呼吸器一般・アレルギー 【統括診療部長】呼吸器一般(肺循環・肺がん・結核他) 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般・アレルギー
	木村	若林	竹山	竹山				
循環器内科	石川					石川	【循環器科】 石川 成範	循環器内科一般
消化器内科						石原		
神経内科		下山			足立		【神経内科】 足立 芳樹 下山 良二	神経内科 神経内科・リハビリテーション
外科	徳島		中井					
小児科	久保田(予約)	齋田(予約)	齋田(予約)	久保田(予約)	齋田(予約)		【小児科】 齋田 泰子 久保田智香	重度心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害・重度心身障害
	齋田	久保田	久保田	齋田	久保田			
発達専門外来							【放射線科】	診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 7:30~11:00
予防接種		(予約)						
肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)		【外科】 徳島 武 目次 裕之 荒木 邦夫 三好健一郎 中井 勲	【院長】呼吸器外科・胸腔鏡下手術(肺がん・自然気胸他) 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科
睡眠時無呼吸外来					呼吸器科 担当医(予約)			
息切れ外来		呼吸器科 担当医(予約)					【小児科】	
喘息 アレルギー外来			竹山 (予約)	竹山 (予約)				
咳嗽外来			竹山 (予約)	竹山 (予約)			【小児科】	
禁煙外来			竹山 (予約)	竹山 (予約)				
アスベスト外来			竹山 (予約)	竹山 (予約)			【放射線科】	
嚔下障害外来		下山 (予約)						
神経難病外来		下山			足立		診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 7:30~11:00	独立行政法人国立病院機構 松江病院 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 医療連携室 F A X (0852) 24-7661 URL http://www.hosp.go.jp/~matsue/
筋ジストロフィー 専門外来					下山 (予約)			
その他	セカンド オピニオン 外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)		



小児科発達 専門外来	診療日：毎週月～金曜日 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけ、などの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15:00～16:30 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。料金5,250円(税込み)
睡眠時無呼吸 外来	診療日：毎週木曜日 14:00～16:00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13:00～15:00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
喘息 アレルギー外来	診療日：毎週水・木 9:00～12:00 (要予約) (日本アレルギー学会専門医・指導医が担当) 内容と特色：成人気管支喘息・花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
慢性咳嗽外来	診療日：毎週水・木 9:00～12:00 (要予約) (咳嗽研究会会員が担当) 内容と特色：3週間以上長引く、咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。声楽家・アナウンサー・教師など声を重要な手段とされる方の悩み。
禁煙外来	診療日：毎週水・木 9:00～12:00 (要予約) (日本呼吸器学会専門医・指導医が担当) 内容と特色：禁煙を志す方の検査、診断と相談に応じます。
アスベスト外来	診療日：毎週水・木 8:30～11:00 (要予約) (日本呼吸器学会専門医・指導医が担当) 内容と特色：石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
嚔下障害外来	診療日：毎週火曜日 8:30～ 嚔下障害外来 (要予約)
神経難病外来	診療日：毎週火・木 8:30～ 神経難病外来
筋ジストロフィー 専門外来	診療日：毎週木曜日(予約=指導室まで) 8:30～ 内容と特色：筋ジス病棟医が診療に当たります。診断から在宅ケアのための医療や介護・福祉サービスの紹介など専門的、総合的外来です。在宅患者に必要な定期的精査短期入院(筋ジストック)も受け付けています。
セカンド オピニオン 外来	診療日：完全予約制(紹介状必須) 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科(筋ジス)の専門医(医長)が担当致します。